

第19回 メンデル講演会

★ 今回のメンデル講演会は特別展「メンデル生誕200年」(7月16日～8月21日)のイベントの一つとして開催されます。

場 所：下諏訪総合文化センター・小ホール（長野県下諏訪町）
開催日：8月20日（土）13：30～16：30

★ メンデル講演会への参加は当日会場でも受け付けますが、コロナ感染症対策もありますので、(1) 諏訪湖博物館に電話(0266-27-1627)でご予約いただくか、(2)下のQRコードのサイトで事前にオンライン登録して下さるようお願いいたします。オンライン登録が完了しますと事前にリマインダーなどを送らせていただくこともできます。

メンデルの遺伝子

草場 信 先生（広島大学教授）

メンデルが遺伝の法則の発見に用いた7つの「メンデルの遺伝子」の実体は科学者の興味を引いてきましたが、いまだに明らかになっていないものが少なくありません。本講演では、まず、皆さんにメンデルが発見したことについて、もう一度思い起こしてもらいながら、「メンデルの遺伝子」に関してこれまでに分かっていることをご紹介します。また、メンデル自身は解析することがなかった遺伝の法則の「例外」についても解説したいと思います。

メンデル遺伝の近代化— 百年前の遺伝学

澤村京一先生（筑波大学准教授）

メンデルの遺伝法則は人々にすんなりと受け入れられたわけではありません。1900年に再発見された後も、紆余曲折がありました。ベートソンはメンデル遺伝の伝道者であり、すべての遺伝現象をこの法則で説明しようとしていました。一方、モーガンはメンデル遺伝に懐疑的だったのですが、ショウジョウバエの白眼変異を見つけて転向しました。2人は当初ことごとく意見が対立し、同じ現象から違った解釈を導き出すこともありました。この講演では、2人の対立を通して近代遺伝学確立の歴史を紹介します。

新たな遺伝学— 行動や性格は遺伝するのか？

小出 剛 先生（国立遺伝学研究所准教授）

皆さんは、「お友達の社交的なところが親御さんにそっくりで、遺伝の影響を考えた」なんてことはないでしょうか？ では、実際に行動や性格は遺伝するのでしょうか？ 実はこの問題、メンデルの法則による明確な説明はできないのです。では、行動や性格の個人差は、どのような遺伝的しくみによりつくられているのでしょうか？ これまで、行動や性格の遺伝子を探す試みが数多く進められてきました。この講演では行動や性格はどのような性質のものなのか、その遺伝的しくみを明らかにするための研究はどのように進められてきたのかを概説して、私たちがこの遺伝の問題をどのように理解すべきかお話ししたいと思います。



特別展「メンデル生誕200年」では「エッセイコンテスト」もやっています。講演を聞いてエッセイのネタ探しをしましょう。
下のQRコードでメンデル講演会の登録サイトにアクセスできます。



★メンデル博物館に収納されているメンデルの眼鏡と同時代の顕微鏡です。



(公財) 日本メンデル協会  ・ 共催：長野県下諏訪町 
後援：駐日チェコ共和国大使館 ・ チェコセンター東京